

島根県雲南市の 多文化共生への取り組み



一般社団法人
ダイバーシティうんなんtoiro 芝 由紀子

【ダイバーシティうんなんtoiro（雲南市木次町）】

2013.9 任意団体設立

多文化共生活動、日本語ボランティアを開始

2016.6 雲南市が多文化共生を事業化

2020.3 雲南市多文化共生推進プラン策定

2020.7 法人化

〈雲南市より業務委託〉

- ①多文化共生推進事業 (政策企画部地域振興課)
- ②日本語サロン企画運営業務 (//)
- ③日本語指導支援業務 (教育委員会児童生徒支援課)

本日お伝えすること

1. 島根県雲南市の多文化共生事情
(現状と課題)
2. 協働による多文化共生への取り組み
(1) 市や関係機関との協働 (2) 地域との協働
(3) 事業所との協働 (4) 外国人住民との協働
3. 仕組みが出来るまで





17カ国名 275名 (令和6年12月)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. ベトナム | ×留学生 |
| 2. 中国 | ×駐在員 |
| 3. フィリピン | •技能実習生 |
| 4. ミャンマー | (縫製、建築) |
| 5. インドネシア | •特定技能(介護) |
| 6. 韓国 | •国際結婚 |
| 7. アメリカ | •ALT、国際交流員 |
| 8. カンボジア | •飲食店経営 |
| 9. ネパール | •外国籍の子ども |
| 10. イギリス | |

*英語が第一言語の人は20名弱

外国人住民の状況、課題

①情報が届いていない

→サービスや施設を十分に利用できていない

②つながりの無さ 孤立

→災害時に頼る先がない

③外国ルーツの子どもの日本語力

からかい、違いからくる孤独感や疎外感

→いきしぶり、不登校

④日本人住民の外国人住民に対する不安感、偏見

⑤日本人住民の多文化共生に対する捉え

(国際交流や英語を話す機会、学習) →負担感、誤解

①市・関係者との協働

雲南市多文化共生推進プロジェクトチーム (PT会議)

雲南市における多文化共生推進の意義や基本的な考え方を明確化するために策定した多文化共生推進プランを着実に推進するため、雲南市プロジェクトチームの設置に関する規程に基づき、雲南市多文化共生推進プロジェクトチームを設置する。

(雲南市多文化共生推進プロジェクトチーム要綱より)

* 12部局の市職員で構成(市立病院を含む)

* 年3回実施

* 多文化共生推進プランの実施状況を一覧にし共有

* 現場の課題や情報の共有、意見交換

(1) 市・関係者との協働

① 外国人住民生活サポート(多文化共生事業)

病院や市役所、学校
ハローワークへの同行
書類記入、電話連絡の補助
転入者と同郷者つなぎ
相談サポート



市・関係機関のサポート

やさしい日本語文書作成のお手伝い
保健師と外国人家庭を訪問
検診のサポート
外国人住民の紹介

*日本語指導支援対象児童生徒については
所属校からの申請書は必要なし

(1) 市・関係者との協働

②SNSでの情報発信(多文化共生事業)



うんなんし（雲南市）からのおしらせ／やさしい にほんご
作成者: 鶴原 隆 ● 9月5日 22:03

【9/4 雲南市（うんなんし）でコロナウイルス(COVID-19)に感染(かんせん)した人(ひと)】
9月(がつ) 4日(にち) 13人(にん)
気(き)を つけて 生活(せいいかつ)しましょう。

16 リーチした人数 0 エンゲージメント数 一 配信スコア

投稿を宣伝

いいね！ コメントする シェア

うんなんし（雲南市）からのおしらせ／やさしい にほんご... 309

うんなんし（雲南市）からのおしらせ／やさしい にほんご
作成者: しば ゆきこ ● 9月5日 13:35

【台風(たいふう)が 近(ちか)づいています】
台風(たいふう)が 近(ちか)づいています。
TVのニュースや WEBサイトを 見(み)て、
天気(てんき)を 確認(かくにん)してください。
強(つよい)風(かぜ)、雨(あめ)に 注意(ちゅうい)してください。
●気象庁(きしょうちょう) Japan Meteorological Agency
<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>

●台風(たいふう)のとき、気(き) (き)を つけること
台風が近くに来たときに気をつけること | NEWS WEB EASY (nhk.or.jp)

土 交 通

JMA.GOV
気象庁多言語ページ | 言語選択 (Multilingual Information)

市担当課、施設に確認
→やさしい日本語の広がり



(1) 市・関係者との協働

③啓発活動/やさしい日本語の普及(多文化共生事業)



雲南市立病院 やさしい日本語講座



雲南市立病院祭「外国人患者さんに向けた
やさしい日本語の取り組みの紹介」



医師による
病院ツアー

(1) 市・関係者との協働

④啓発活動/学校での多文化共生授業(多文化共生事業)



はだのいろや かみのいろが
ちがっても みんなが おなじかんじようや
ゆめをもっている。
みんななかよくしましょう。



(めあて)

- ・誰もが笑顔で気持ちよく暮らすには？
- ・お互いを大切にするにはどうしたらいいか考えよう
- ・〇〇から来た〇〇さんとともにだちになろう

(具体例①)

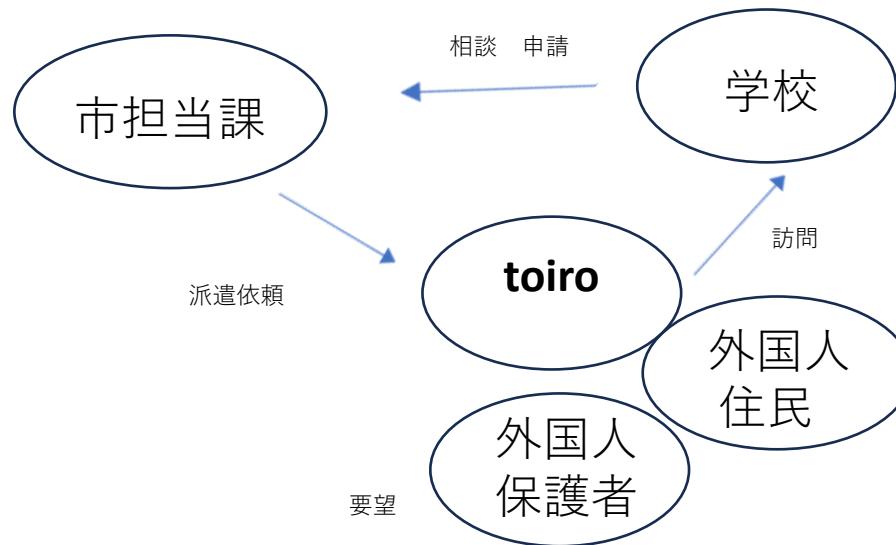
*外国ルーツの子どもが日本の学校のルールを知らない。
守ることができない。日本人の子どもの注意の仕方が厳しい

(具体例②)

*外国ルーツの子どもの母国への揶揄、子ども同志のトラブル

(具体例③)

*容姿に関するからかい



(1) 市・関係者との協働

⑤日本語教室(日本語サロン企画運営業務)

<病院> <防災> <ごみの捨て方>など

雲南ぐらしに関することをテーマに外国人住民と日本人住民が
日本語で交流



やさしい日本語でうんなんツアー

- ・日本語サロンで学んだ内容をツアーで実践
- ・地域や関係機関をより身近に
- ・関係者が外国人住民とやさしい日本語で交流

〈警察署ツアー〉
落とし物会話練習



〈病院ツアー〉 医師との意見交換会



〈防災ツアー〉

(1) 市・関係者との協働

⑥日本語指導支援業務

* 日本語指導支援員を幼保・小・中学校へ派遣

①就学前日本語指導支援

②小中学校での日本語指導支援

学期中、長期休暇期間中 取り出し、入り込み



(2) 地域との協働

①木次町新市地区



- 地域活動への参加と交流 ゴミ拾い、どんどさん、盆踊り、書道教室、子ども神輿
- 外国人住民さんの紹介、つなぎ
- 地区事業所への外国人住民の紹介(アルバイト面接への同席)
- 人権イベントの開催

(2) 地域との協働

②木次町日登地区

「多様性を認め合える共生の地域づくり事業」
～地元出身者、U/Iターン者、外国出身者がつながるために～



ふるさと祭り



女性学級

U I ターン者（外国出身者も含む）による
おもてなしランチ交流会

(2) 地域との協働

③掛合町掛合地区



島根県訪問型日本語教室
@掛合交流センター



地区住民との防災料理交流会
(2019.3)

掛合地区

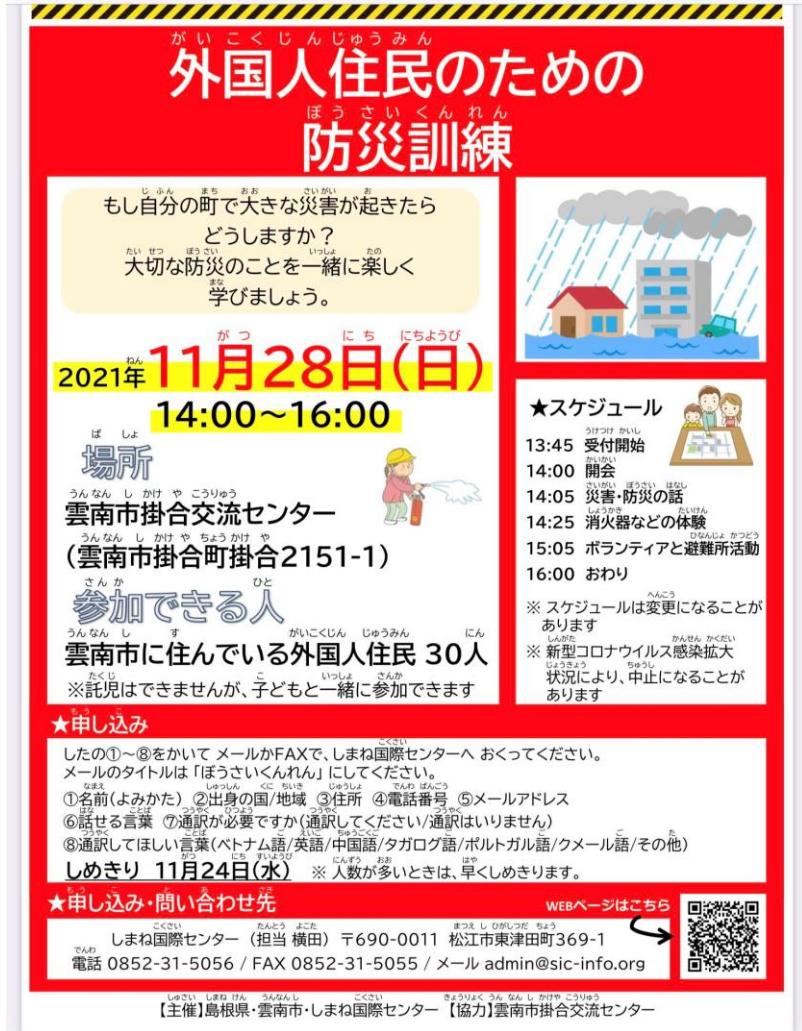
縫製工場 2 か所で防災訓練を実施
(2019.1)

(雲南省安全防災部) 市出前講座を利用



外国人住民のための防災訓練

災害時外国人サポーター養成研修 (2021年11月)





＜職場における外国人受け入れと
多文化共生の地域づくりについて＞(2022.2)
市内企業、市産業部、市政策企画部



＜災害時の外国人住民対応の勉強会＞(2022.7)
掛合地区防災安全部員、掛合自主組織事務局、市防
災安全部、政策企画部



<災害×やさしい日本語 実習生との交流会>

参加者:実習生、掛合自主組織事務局、
防災委員、実習先社長、地元の高校の
校長、教員、市の多文化共生担当者、
防災安全部担当者



フィールドワーク：
掛合地区の診療所と交流センター
を訪問。「外国人視点」で施設を
見学。病院関係者、地域自主組織
と意見交換。



三刀屋高校掛合分校 地域創造活動(2020~)

2021年夏 豪雨災害時 外国人住民に関する課題

掛合交流センターを避難所として開設。

避難者 130名（内、外国人10名） 対応者 6名

- ・経営者が来ず、実習生だけが避難。日本語が出来ず、記入シートの作成が不可。最後まで国籍の確認も取れなかった
- ・日本人避難者がジロジロ見たため、仕切りを準備。
- ・トイレの標識等、外国語表記があればよかったです

→ 日頃の関係性の無さがそのまま出てしまった。

災害時にも助け合える関係を築く必要がある。

実習生は年齢が若く、関係性があれば配膳の手伝い等、頼めたかもしれない

平常時の色々な活動でのゆるいつながり

→非常時のセーフティネットへ

必要なのは公的機関だけでなく
地域の中に相談できる人、頼れる人がいる
家族や友だちに代わる人、寄り添う人いる状態

*コロナ禍のような非常時には
特に個人と個人のつながりが重要

(3) 事業所との協働(協力)

関わった事業所数：13（実数）

- ・ 日本語学習、やさしい日本語ツアーコード 9
- ・ 防災活動 3
- ・ サポート活動 2
- ・ その他教育活動やセミナー 1

(4) 外国人住民との協働

多文化共生事業① 外国人住民生活サポート

市・関係機関のサポート

令和6年度実数 外国人住民 4名

多文化共生事業④ 多文化共生推進に関する活動

令和6年度実数 外国人住民 29名

これまでの流れ

年	行政（雲南市）	地域団体（トイロ）	県・しまね国際センター
?	「日本語指導支援業務」		
2007	「雲南市人権施策推進基本方針」策定		
2013.9		任意団体設立（多文化共生活動、日本語ボランティア開始）	
2014	「雲南市人権施策推進基本方針」	（日本語指導支援員として小・中学校に勤務）	
2015.4		島根県外国人地域センター委嘱 (→担当課の明確化、国際センター・他団体とのつながり)	「島根県外国人地域センター」制度開始
2015.1～3		幼稚園で日本語ボランティア (→幼稚園、小学校から教育委員会に必要性が伝わる)	
2016.6	「多文化共生推進事業」開始 「就学前日本語指導支援業務」開始	「多文化共生事業」「日本語指導支援業務（就学前含）」受託開始	
2019	「雲南市人権施策推進基本方針（第2次改定）」に多文化共生という言葉が入る		文化庁補助事業 「日本語パートナー養成講座」開始 「訪問型日本語コース」開始
2020.3	「雲南市多文化共生推進プラン」策定		活用
2021.6～2023.2		「外国人住民のためのうんなん暮らし支援事業（休眠）」 *地域日本語教室の開始	
2023.4	「日本語サロン企画運営業務」開始	「日本語サロン業務」受託開始	活用 「市町村への日本語教育への取り組みへの支援」（間接補助事業）開始

雲南市多文化共生推進プラン

(1) だれとでも気軽に交流できるやさしいまち

【コミュニケーション支援】

*やさしい日本語の普及、日本語学習支援

(2) だれもが安心して暮らせるまち

【生活支援】 *情報提供、災害、保険、医療支援

(3) だれもが活躍できるまち

【多文化共生の地域づくり】

*自立、まちづくりへの参加、「チャレンジ」の促進



〈起きた変化〉

- 関係者に外国人住民の現状や課題が伝わり、サービスにつながった（関係者）
- 関係性の構築（日本人住民が畠を貸す、挨拶や立ち話をする）
- 施設利用につながった（外国人住民）
- 他の外国人から刺激を受け転職へ（外国人住民）
- 外国人住民の地域活動への参加。交流の開始。
- 「役に立てて嬉しい」「街の一員になれた気がする」との声（外国人住民）

ありがとうございました